



国際教育協力懇談会(第4回)

～国際協力における大学等有する「知」の活用～

大学等による組織的・戦略的な国際活動を
促進するための取り組み強化に向けて

大学等による組織的・戦略的な国際活動の強化(1)

—「知」の活用による国民理解と国際的な知名度の向上を目指して—

基本認識

- ・研究で生み出される「知」は社会発展の基盤
- ・大学等は「知」の創造・蓄積の拠点(宝庫)
- ・大学の活動は「研究」と「教育」が基盤(特徴)

大学等による国際活動に対する期待

- ・大学等の個性化や国際化の推進手段として位置づけられること
- ・大学等の特徴を活かした組織的かつ戦略的な取り組みが継続的になされること
- ・理論／実験室のレベルに留まっている研究成果についても、より多くが体系的に社会に還元(実用)できるようになること
- ・そのための応用研究に必要な(競争的)資金を獲得すること

大学等による組織的・戦略的な国際活動の強化(2)

—「知」の活用による国民理解と国際的な知名度の向上を目指して—

取り組み強化の方針

- ・大学等の特徴を活かした組織的かつ戦略的な活動に対する支援
- ・大学等による対応能力向上を意図したネットワーク化(連携)の支援
- ・大学等関係者のインセンティブに配慮した活動の支援



- (1) 国際開発協力サポート・センター・プロジェクト(SCP)の機能強化
- (2) 小規模な実証試験／社会実験などの応用研究に必要な資金の確保
(運用に関してSCPが助言・管理)



国際開発協力サポート・センター・プロジェクト (SCP)の機能強化(1)

～大学等の特徴を活かした組織的かつ戦略的な国際活動の強化支援を目指して～

SCPの課題と期待

- (1) 関連情報の収集や提供に関する機能の強化 (**窓口機能**の強化)
 - ・大学関連情報や援助関連情報などの体系的な収集
 - ・大学等や援助機関に対する関連情報の提供と助言ほか
- (2) 相談・助言・提案に関する機能の強化 (**コンサルタント機能**の強化)
 - ・大学等の特徴である「研究」や「教育」を基盤にした国際活動の支援案件の調査／評価、分野専門家の派遣、JICA／JBICの研修など人材育成案件の企画・推進ほか
 - ・関係機関によるネットワーク化の企画・推進
 - ・大学OBを含む大学や国際機関など関連人材の活用企画・推進ほか
- (3) 大学等が国際活動を実施するための競争的**資金の確保推進**・助言
 - ・大学等の「知」を活用した現地適用化など応用研究の企画・推進ほか

国際開発協力サポート・センター・プロジェクト (SCP)の機能強化(2)

～大学等の特徴を活かした組織的かつ戦略的な国際活動の強化支援を目指して～

現在の主な機能

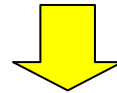
大学による「組織的」な国際開発協力プロジェクトの受託支援

関係構築 支援

- ・大学等データベースの整備
- ・専門家の紹介・斡旋
- ・連携機関からの受託支援等

体制整備 支援

- ・大学経営層等への啓蒙
- ・体制整備のための相談・助言
- ・関連研修実施・マニュアル整備
- ・関連情報の収集と発信等



今後の主な機能

大学による「組織的」な国際協力活動の支援

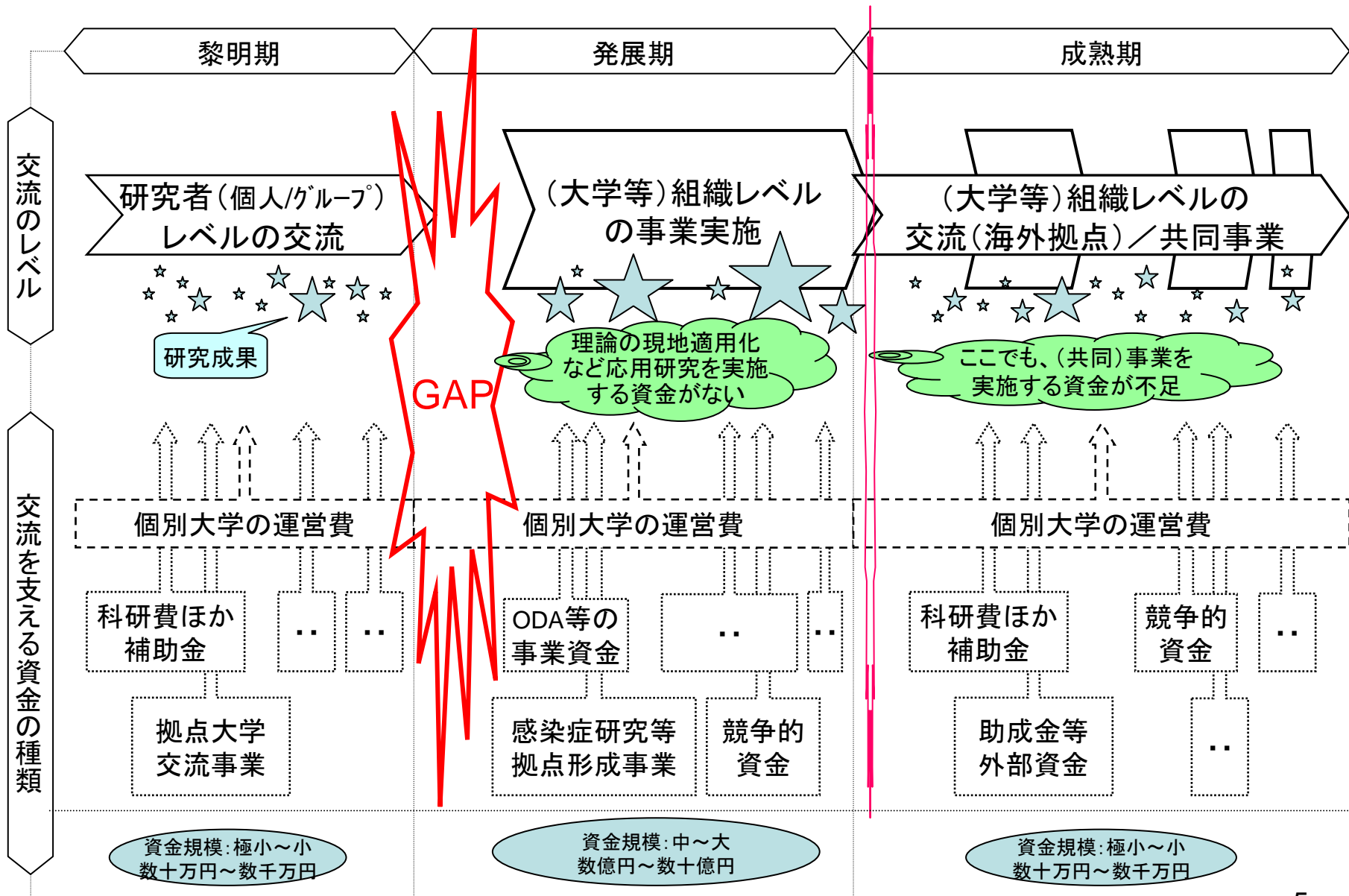
情報整備 提供 支援

- ・大学関連情報の整備・提供
(方針・組織・専門・人材等)
- ・援助関連情報の整備・提供等
(基本計画・方針・要望・動向等)

実施 支援

- ・国際協力活動に関する相談・助言
- ・ネットワーク化の企画・推進
- ・マッチングの企画・推進
- ・応用研究費の確保推進・助言等

応用研究に必要な資金の確保(1) ～取り組みの強化が期待される領域～



応用研究に必要な資金の確保(2) ～取り組みの強化が期待される領域～

大学等の特徴を活かした国際協力活動のイメージ例

応用研究を通じた国際活動の実施

- 目 標 > 理論の現地適用化や普及手法の開発など応用研究を組織的に行うことを通じ、「知」の産物たる研究成果を社会還元することにより、大学等の活動に関する国民理解の促進、並びに、国際的な知名度の向上を図る。
- 期待効果 > (1) 応用研究に関する知見の蓄積、(2) 組織的な国際活動に関する能力強化、(3) 学生や職員など関連人材の育成、(4) 大学等の個性化と国際化の推進
- 副次効果 > 他組織との関係強化や知名度の向上による学生や研究者の確保・交流など

事例1 (蓄積してきた「知」の応用可能性を検証／改善したい場合)

- ・我が国O大学の研究グループが環境管理(能力・体系)に関する研究成果を豊富に蓄積
 - ・V国H市のV大学の研究グループと長年に渡り交流
- O大学が有する知見をV国H市R地区の環境管理能力・体系や環境質の改善に応用
環境管理に係る行政能力や現地材料による環境質の改善等を研究→V大学を通じH市に政策提言

事例2 (蓄積してきた「知」の応用の場が国内では限定的な分野の場合)

- ・我が国T大学の研究者グループが都市計画や交通制御に関する研究成果を豊富に蓄積
 - ・F国M市のP大学の研究者グループと長年に渡り交流
- T大学が有する知見をF国M市M地区での社会実験や交通計画に応用
現地の状況に適した規則(ソフト)や施設(ハード)の導入等を研究→P大学を通じM市に政策提言